

【古典探究】

<学習内容について>

「言語文化」で学習した「古文」・「漢文」の分野を発展させた内容です。「古文」では、有名な作品を読解し、鑑賞する能力を養い、「漢文」では、知識の復習とともに、その知識を活かして、やや程度の高い作品の読解を目指します。

<教材について>

教科書：「高等学校 標準 古典探究」（第一学習社）

学習書：「高等学校 改訂版 標準 古典 B」（NHK 出版）

※「古典探究」の学習書は昨年度と同じです。

<レポートについて>

前期 6 回、後期 6 回のレポートがあります。

[前期]

教科書第 I 部

[後期]

教科書第 II 部

<学習の進め方について>

レポートに取り組む際には、まず声に出して本文を読むようにしましょう。NHK 高校講座のサイトで朗読を聞いたり、授業に出席したりするとわかります。漢字の読み・語句の意味・現代語訳については、学習書を使って調べれば理解できるようになっています。古語辞典や漢和辞典（紙の辞書でも、ネット上の辞書でもかまいません。）を活用すると語彙が増えるのでお勧めです。それでも分からないときには、質問しましょう。

<スクーリングについて>

半期に 2 時間以上の出席が必要です。教科書と学習書を忘れずに持参してください。スクーリングでは、漢字の読み・語句の意味・現代語訳を確認し、本文の内容を鑑賞して、自分の考えを話し合ったりします。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、学習態度等）を総合して 100 点法で行い、30 点以上を合格とします。

[知識・技能]

実社会に必要な国語の知識を身につけている。

[思考・判断・表現]

論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との伝え合う力を高め、自分の思考を深めようとしている。

[主体的に学習に取り組む態度]

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通じて積極的に他者や社会に関わろうとしている。